

平成27年度 第2回 秋田市公立大学法人評価委員会 会議録

1 日 時 平成27年8月7日(金) 10:00～11:00

2 会 場 秋田市役所 2階 会議兼応接室

3 出席者

【委員】

野田 敏明 委員長

鏡 隆千代 委員

野見山浩平 委員

福士 文友 委員

三浦 潔 委員

【公立大学法人秋田公立美術大学】

霜鳥理事長兼学長、富樫理事兼事務局長、近藤総務課長、八木橋学生課長、北嶋企画課長、小川副参事

【設置者・評価委員会事務局】

工藤企画財政部長、納谷企画調整課参事、加藤主席主査

4 議 事

委員会事務局

ただいまから平成27年度第2回「秋田市公立大学法人評価委員会」を開会する。

5人全員の出席をいただき、本委員会条例に規定されている定足数を満たしていることを報告する。

それでは議事に入る。会議の進行を、野田委員長にお願いします。

委員長

次第にしたがって議事を進める。

まずは、配付資料を確認しながら、本日の議事進行方針を説明する。

別紙1、2で、大学院設置に伴い中期目標の変更が必要になったことから、その内容を説明してもらおう。

別紙3で、平成26年度業務実績について、公立大学法人から前回委員会との変更点の概要を説明してもらおう。

その後非公開とし、平成26年度業務実績評価書(案)について確認する。

【議事(1)】

公立大学法人秋田公立美術大学の中期目標変更について

委員長

それでは、議事(1)の「公立大学法人秋田公立美術大学の中期目標変更について」を審議する。

前回7月7日に開催した第1回委員会で、大学から大学院設置基本構想に関して報告をいただいた。

それを踏まえ、設置者である市から中期目標の変更について説明していただく。

委員会事務局

委員長説明にあったが、前回7月7日の第1回評価委員会で、大学院設置については美術大学から説明済みである。

それを踏まえ、市では大学の意思を尊重しながら、設置者として構想内容等を精査し、支援を検討しているが、その一環で今回の中期目標変更となった。

現行の中期目標は大学院設置規定がないことから、その文言を追加する必要がある。

法の規定では、中期目標の変更には評価委員会の意見を聴取、議会の議決の要件があり、それに基づき委員会から意見聴取をするため、本委員会での審議となった。

変更箇所は、教育研究上の基本組織の規定に、「大学院を設置し、大学院には学部を基盤とした研究科を置く」を追加することのみである。

これは、大学院設置は、大学の基本理念を継続して設置するため、最低限必要な箇所のみを変更するからである。

今後の予定として、委員会意見聴取後、議会での審議を経て、大学院認可申請作業を進め、来年8月末に設置認可予定となる。

認可後に、当委員会で中期計画の変更審議を予定している。

委員長

変更案について、意見があればお願いします。

委員

大学院設置については、先日、美大理事長が記者会見をして話をしたが、大学院設置の取り組みはオープンになっているのか。

公立大学法人

その通りである。

委員長

市からの説明があったが、評価委員会からの意見聴取と同様に議会の方でも中期目標変更の審議をしてもらうことになっている。

委員

中期目標変更については、議会の議決が必要になるのか。

委員会事務局

その通りである。

委員

そうであれば、議会は議決を以て大学院設置を了としたことになるか。

委員会事務局

その通りである。来月の9月議会市議会で、中期目標変更の議案を提出する予定である。

委員

委員会審議の対象になるのか。

委員会事務局

通常の議案審議と同じく、大学を担当する常任委員会で審議をいただく流れになっている。

委員

(大学院設置に関する) 議会の反応はどうなっているか。

委員会事務局 6月議会の総務委員会で、大学院設置に関する概要説明をしたが、内容に関する意見は特になかった。

(その他に意見なし)

委員長 それでは、中期目標変更について、本委員会では原案のとおりでよろしいか。(「異議なし」との声有り。)
秋田公立美術大学中期目標の変更は、原案どおりとする。

【議事(2)】

秋田公立美術大学平成26年度業務実績について

委員長 それでは次に、議事(2)「平成26年度業務実績について」を審議する。
これは、前回の会議での委員意見等を踏まえ、大学が修正をしたものであるので、大学から概要を説明して欲しい。

公立大学法人

連番2

記載の内容がわかりづらいとの意見を踏まえ、改めた。

連番5

連番80と同じ内容だったため、修正した。

また、新屋地区や他の地域と関連して行った演習を加えた。

連番6

参考として昨年度の実績を加えた。

連番10

参考として昨年度の実績を加えた。

連番21

文言の関係だが、「連携しながら推進した」を「連携しながら、以下の実習を行った」に改めた。

連番31

シラバスの説明を加えた。

連番32

ポートフォリオの説明を加えた。

連番34

文書を整理し、アンケート調査における学生の感想の一部を加えた。

連番36

連番34と重複する内容だったため、整理した。

連番37

客員教授候補者名を加えた。

連番41

図書館の蔵書数に誤りがあったため、訂正した。

連番45

「教員相互の授業参観制度」を「教員相互の授業参観」に修正した。

連番46

オフィスアワーの説明を加えた。

連番48

サテライトセンターの説明で記載していた「助成あり」を削除した。

連番56

平成25年度に編入学し、今春卒業した学生の進路決定率を加えた。

連番58

JR秋田駅中央改札口付近での市街地木質化実証モデル事業の記載を加えた。

連番60

自己評価について、当初Ⅲとしたが、発表件数や入賞件数ともに昨年度を上回っていることからⅣに修正した。

連番63

「中心市街地活性化研究として行ったものである」を「中心市街地活性化研究として行われたものである」に修正した。

連番66

「研究費を実施した」を「研究費を設置した」に修正した。

連番74

内容が連番58と同じため、「58の再掲」の記載を加えた。

連番76

秋田市土産品開発プロジェクト開発商品パッケージデザインの説明を加えた。

連番80

内容が連番5と同じため、「5の再掲」の記載を加えた。

連番83

連番63と重複する内容だったため、整理した。

連番87

文中の「委員」が何の委員かわからないため、「国際交流委員会委員」に修正した。

連番118

取り組み実績について、「また」以下を加えた。

連番119

取り組み実績について、「また」以下を加えた。

委員長

修正案について、ご意見、ご質問があればお願いします。

(特に意見なし)

それでは、業務実績について、本委員会では原案のとおりでよろしいでしょうか。(「なし」との声あり)

平成26年度業務実績は、修正案どおりとする。

【議事(3)】

平成26年度業務実績評価書について(案)

※本委員会運営要綱により非公開

なお、平成26年度業務実績評価書は、完成後、公開予定